役員一覧

理事長	久保 俊一	*KUBO Toshikazu*	京都府立医科大学　特任教授 日本リハビリテーション医学会　理事長
副理事長	田島 文博	*TAJIMA Fumihiro*	和歌山県立医科大学　教授
理事	佐浦 隆一	*SAURA Ryuichi*	大阪医科大学　教授
理事	中村 健	*NAKAMURA Takeshi*	横浜市立大学　教授
理事	芳賀 信彦	*HAGA Nobuhiko*	東京大学　教授
理事	半田 一登	*HANDA Kazuto*	日本理学療法士協会　会長
理事	三上 靖夫	*MIKAMI Yasuo*	京都府立医科大学　教授
監事	安保 雅博	*ABO Masahiro*	東京慈恵会医科大学　教授

学術理事一覧

赤居 正美	*AKAI Masami*	国際医療福祉大学　副大学院長
浅見 豊子	*ASAMI Toyoko*	佐賀大学　教授
新井 祐志	*ARAI Yuji*	京都府立医科大学　准教授
海老原 覚	*EBIHARA Satoru*	東邦大学　教授
緒方 直史	*OGATA Naoshi*	帝京大学　教授
角田 亘	*KAKUDA Wataru*	国際医療福祉大学　教授
加藤 真介	*KATOH Shinsuke*	徳島大学病院　教授
城戸 顕	*KIDO Akira*	奈良県立医科大学　病院教授
上月 正博	*KOHZUKI Masahiro*	東北大学　教授
近藤 和泉	*KONDO Izumi*	国立長寿医療研究センター　特命副院長
佐伯 覚	*SAEKI Satoru*	産業医科大学　教授
坂井 孝司	*SAKAI Takashi*	山口大学　教授
酒井 良忠	*SAKAI Yoshitada*	神戸大学　特命教授
島田 洋一	*SHIMADA Yoichi*	秋田大学　教授
菅本 一臣	*SUGAMOTO Kazuomi*	大阪大学　教授
高橋 泰	*TAKAHASHI Tai*	国際医療福祉大学　教授
辻 哲也	*TSUJI Tetsuya*	慶応義塾大学　准教授
道免 和久	*DOMEN Kazuhisa*	兵庫医科大学　教授
西村 行秀	*NISHIMURA Yukihide*	岩手医科大学　教授
花山 耕三	*HANAYAMA Kozo*	川崎医科大学　教授
北條 達也	*HOJO Tatsuya*	同志社大学　教授
正門 由久	*MASAKADO Yoshihisa*	東海大学　教授
三上 幸夫	*MIKAMI Yukio*	和歌山県立医科大学　准教授
水間 正澄	*MIZUMA Masazumi*	昭和大学　名誉教授
三橋 尚志	*MITSUHASHI Takashi*	京都大原記念病院　副院長

研修会の開催予定

2019年11月3日（日）	リハビリテーション科医師研修会～指示の出し方～（東京）
2019年12月14日（土）～15日（日）	リハビリテーション科医師研修会～急性期病棟における～（京都）
2020年2月8日（土）～9日（日）	リハビリテーション科医師研修会～生活期～（東京）
2020年7月～8月　実施予定	リハビリテーション専門職研修会（京都）

開催概要、申込は当機構のホームページへアクセスしてください。

URL　http://www.jrmec.or.jp

e-learningのご案内

2020年1月配信開始予定

e-learningは、リハビリテーション医学・医療に関係する幅広い分野を扱います。
リハビリテーション医学・医療を学びたい方はどなたでも受講できます。

- パソコン・スマートフォンなどから受講可能です
- 配信可能な科目一覧については当機構のホームページへアクセスください。
- 配信予定講座例　「リハビリテーション医学・医療の基本」パッケージ
  「リハビリテーション科医師研修会」パッケージ
  「急性期のリハビリテーション関連専門職研修会」パッケージ　など

URL　http://www.jrmec.or.jp

一般社団法人
日本リハビリテーション医学教育推進機構

国立京都国際会館

The Japanese Organization for Education and Certification of Rehabilitation Medicine (JRMEC)

◉京都事務局
〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷺町422 国立京都国際会館6F
Tel. 075-723-8510　Fax. 075-723-8511

◉東京事務局
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-18-12　内神田東誠ビル9F
Tel. 03-6273-7007　Fax. 03-5280-9701
（日本リハビリテーション医学会：内神田東誠ビル2F　Tel. 03-5280-9700）

◉Email　office@jrmec.or.jp
◉ホームページ　http://www.jrmec.or.jp

社員団体と代表者

日本リハビリテーション医学会	久保 俊一	理事長
日本急性期リハビリテーション医学会	田島 文博	理事長
日本回復期リハビリテーション医学会	才藤 栄一	理事長
日本生活期リハビリテーション医学会	水間 正澄	代表理事
日本義肢装具学会	芳賀 信彦	理事長
日本脊髄障害医学会	島田 洋一	理事長
日本集中治療医学会	西村 匡司	理事長
日本股関節学会	上島 圭一郎	学術理事
日本在宅医療連合学会	石垣 泰則	代表理事
日本スティミュレーションセラピー学会	安保 雅博	理事長
日本骨髄間葉系幹細胞治療学会	本望 修	代表理事
京都リハビリテーション医学会	三上 靖夫	副理事長
日本生体電気・物理刺激研究会	徳永 大作	幹事
日本リウマチリハビリテーション研究会	佐浦 隆一	代表世話人
日本骨転移研究会	酒井 良忠	幹事
日本慢性期医療協会	武久 洋三	会長
日本リハビリテーション病院・施設協会	斉藤 正身	会長
回復期リハビリテーション病棟協会	三橋 尚志	会長
慢性期リハビリテーション協会	橋本 康子	会長
日本理学療法士協会	半田 一登	会長
日本作業療法士協会	中村 春基	会長
日本言語聴覚士協会	深浦 順一	会長
日本義肢装具士協会	野坂 利也	会長

（2019年10月）

一般社団法人
日本リハビリテーション医学教育推進機構

The Japanese Organization for Education and Certification of Rehabilitation Medicine

リハビリテーション医学・医療の未来を拓き、社会に貢献する

ご挨拶

人々の活動を育む医学…
それがリハビリテーション医学です

久保 俊一
日本リハビリテーション医学教育推進機構
理事長・機構長（日本リハビリテーション医学会理事長）

リハビリテーション医学とは、さまざまな疾患、障害、病態などにより低下した機能と能力を回復し、残存した障害や不利益を克服するために、人々の活動を育む医学分野です。

社会の高齢化が急速に進んだ現在では、リハビリテーション医学・医療の対象者は、小児から高齢者まですべての年齢層に広がっています。また、急速な少子高齢化は、疾病構造を複雑にしました。これに伴ってリハビリテーション医学・医療が対象とする疾患や障害は、運動器障害、脳血管障害、循環器や呼吸器などの内部障害、摂食嚥下障害、小児疾患、がんなど幅広い領域に及んでいます。さらに、不健康期間が延びるにしたがい、病院や施設だけでなく生活期でも良質なリハビリテーション医学・医療が求められています。このように、リハビリテーション医学・医療に対する社会の期待は極めて大きいものがあります。

しかしながら、リハビリテーション医学・医療の分野にはさまざまな団体や活動があり、必ずしも統一された状態にはなっていません。定義や用語も定まっていないのが現状です。このような状況において、リハビリテーション医学・医療をまとめるキーワードとなるのは「教育」です。日本リハビリテーション医学教育推進機構は、この考え方に沿って2018年10月に設立されました。

本機構が果たす役割はたくさんあります。多くの学術団体、協会、医療機関、研究団体、教育団体、企業などからご賛同とご支援をいただければ幸いです。

活動を育むリハビリテーション医学

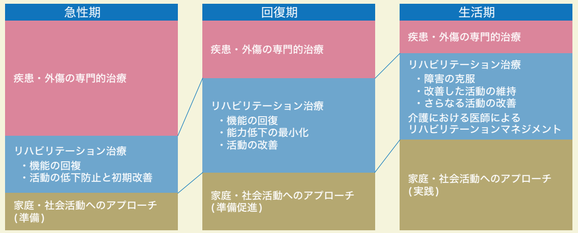
日常での「活動」	起き上がる、座る、立つ、歩く、手を洗う、見る、聞く、話す、考える、衣服を着る、食事をする、排泄をする、寝るなど
家庭での「活動」	掃除、洗濯、料理、買い物など
社会での「活動」	学校生活、就業、地域行事、スポーツなど

リハビリテーション医学・医療の主な対象

脳血管障害・頭部外傷	周術期の身体機能の障害の予防・回復
運動器の疾患・外傷	摂食嚥下障害
脊髄損傷	がん（悪性腫瘍）
神経筋疾患	スポーツ外傷・障害
切断（外傷・血行障害・腫瘍など）	骨粗鬆症・熱傷
小児疾患	フレイル
リウマチ性疾患	ロコモティブシンドローム
循環器疾患・呼吸器疾患・腎疾患・糖尿病・肥満	サルコペニア

急性期・回復期・生活期のリハビリテーション医療

3つのフェーズにおける疾患・外傷の専門的治療、リハビリテーション治療、介護における医師によるリハビリテーションマネジメントおよび家庭・社会活動へのアプローチの位置付けとその比重

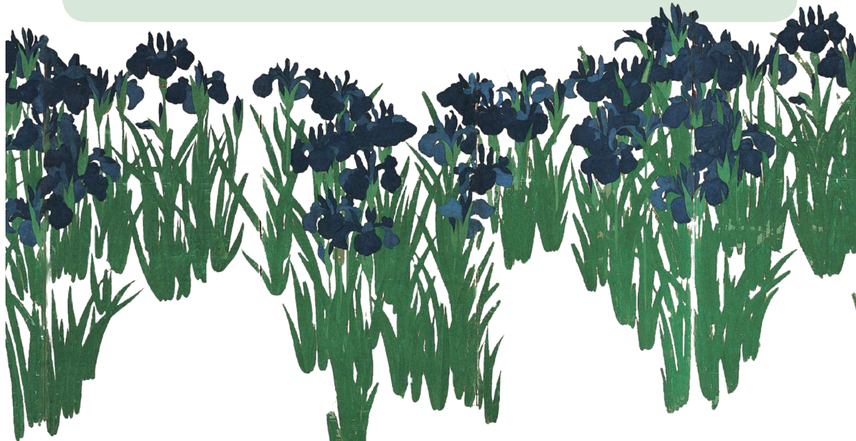


リハビリテーション医療チーム

推進機構の主な取り組み

1. リハビリテーション医学・医療教育における教材作成
   - ◉テキスト作成　◉ e-learning 作成　◉市民向けの教育活動
2. リハビリテーション医学・医療教育に関する研修会開催
   - ◉日本リハビリテーション医学会関連研修会の開催　◉専門職関連の研修会の企画と開催
3. リハビリテーション専門職の教育・認定
   - ◉総合力のある専門職の教育と認定
4. リハビリテーション医学・医療の質向上に対する研究・開発
   - ◉先端医療・機器・装具等の開発　◉ AI　◉創薬　◉その他
5. リハビリテーション医学に関連する学術団体の運営支援
6. 学術倫理の支援

社会への貢献

寛容社会（Inclusive Society ）の実現

障害のある人も、障害のない人も、大人も、子供も、いろいろな社会的立場の人が心を開き合い安心して生活できる「寛容」な社会の実現にリハビリテーション医学・医療が貢献します。